

## 平成 29 年度 第 4 回地域医療構想調整会議（概要・抜粋）

日時：平成 30 年 3 月 16 日 19:30～21:00

場所：保健所 第 1 研修室

参加者：委員 水谷 元雄（座長）、丸木 雄一（代理）、林 承弘、安藤 明彦、  
百村 伸一、立川 敏章、黒田 豊、細田 洋一郎、西村 直久、  
丸山 泰幸、窪地 淳  
オブザーバー順天堂は欠席（※事前に連絡あり）  
埼玉県庁担当者 保健医療政策課；主幹、主査  
事務局 保健福祉局長、理事、部長、保健所長、課長 他

概要：（○委員、●埼玉県、◎事務局）

※注：議事録作成にあたって、事務局で適宜、表現の整理や内容の補足を行っています。

また、関連する内容は、順序を変える、まとめる等の修正をしています。

### 議題（1）

（病院プレゼンテーションについて） 資料 1、2 関連

○新公立病院改革プランと公的医療機関等 2025 プランは、この調整会議でどのように扱われる予定か。

◎厚生労働省の通知では、調整会議で議論することとなっているため、平成 30 年度以降の調整会議の中で、議論していくこととなる。

（地域医療構想の進め方について） 資料 3 関連

○順天堂の開設に対して、県として不足する病床機能等の条件を付与するのか。また、順天堂へ地域医療構想調整会議への出席を求めているが、出席していない。今後どのように対応していくのか。

●第 1 回会議（8 月）の時に説明したとおり、順天堂大学病院が調整会議に出席することがベストであるが、現時点では順天堂大学病院の機能が決まっていない現状である。3 月 28 日の医療審議会での説明があると聞いている。

○さいたま医療圏は、回復期、慢性期は不足し、高度急性期、急性期は既存の病院の病床が 2025 年の病床を超えている。県は、不足する回復期、慢性期の病床の条件を順天堂大学病院に付与するつもりか。

●現時点では回答できない。

○順天堂大学病院は、800 床を予定しており、さいたま二次医療圏でも、来るのか、来ないのかははっきりしないと、調整会議の進めようがない。また、

市は、土地を無償貸与するかどうかははっきりしていない。

- ◎市は、旧浦和市、岩槻市時代の約束に基づいて、URから土地を買い戻したが、将来的に順天堂が来るならば、それを貸付してもよいと以前から考えているところである。なお、無償で貸し付けるかどうかについては、順天堂がどのような医療機能を提供するか、市にとってメリットがあるか等を踏まえ、今後検討していく。
- 以前の調整会議で、順天堂の病床については、考慮しないでいいという発言があったが、これは担保されている話なのか。
- ◎医療計画が4月より第7次になるので、基準病床数も変わってくる。順天堂に限定はしないが、地域医療構想で示された将来予測や第7次医療計画で示された基準病床数との数字がずれてくる部分があるので、さいたま市だけでなく県内全体としてどのように取り扱っていくのかを県に示してもらいたい。
- 3月28日に行われる医療審議会でも順天堂の話題があがると聞いているため、現時点ではわからない。
- 順天堂には、市から出席要請をしてきたが、厚生労働省の通知によると都道府県がやりなさいとある。県がやる仕事である。また、この調整会議として、県から順天堂へ出席要請をすることなどを盛り込んだ決議文や要請をするのはどうか。

(座長コメント)

- ・順天堂へ調整会議の出席を要請するよう、県へ文書を出すこととする。また、調整会議において、地域で果たす医療機能等について、説明するよう求める文書を出すこととする。
- ホームページで、可能であれば、地域医療構想にかかわるすべての病院に案内を出してもらいたい。
- ◎開催時期を早めにお知らせすることとする。

議題(2)

(病床機能報告データ分析について) 資料4 関連

- 浦和医師会の病院部会で上がった意見を報告させていただきたい。5ページの回復期のところに、急性期・高度急性期の要件を満たさない病棟は、全て回復期という表記があるが、これはちょっと厳しいという話が出た。特に、急性期がかなりしぼられている。KからNまでであるが、ウォークインで入ったような肺炎の急性期入院の治療、画像診断、点滴、抗生剤、場合によっては、レスピレーターなど、医療資源を急性期の患者に対して、提供するという部分では、言葉の定義からしても、急性期ではないか。主に、内科系の救

急をやっていない急性期病棟にとっては、あまり反映されていないという意見があった。もう少し内科系の急性期病棟の急性期治療が反映されるようなクライテリアを検討していただけないかという意見が出た。

○AからNまでの基準は、何を根拠に作成したものか。

●みずほ情報総研が、全国の病床機能報告のデータや、全県の地域医療構想推進会議の委員の意見を聞いた中で、提案したもの。

○妥当な線の決め方をもっと明らかにするべきである。

(以上)